

<p>このようなときは必ず電源を切りましょう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 航空機内 <p>航空機内での使用は罰せられることがあります。XO6HT IIの電源をお切りください。</p> ● 運転中 <p>自動車運転中のご使用は法律で禁止されています。XO6HT IIの電源をお切りください。</p> ● 病院内 <p>病院など医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従いましょう。</p> ● 満員電車など <p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性があります。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがありますので、XO6HT IIの電源をお切りください。</p> ● 映画館・劇場・美術館など公共の場所 <p>静かにすべき公共の場所でXO6HT IIを使用すると、周囲の方への迷惑になります。</p>

マナーを守るための便利な機能

マナーモード

電話がかかってきたり、ボタン操作をしても、XO6HT IIから音が出ないようにします。

留守番電話サービス

電話に出られないときに、かけてきた相手の用件を留守番電話サービスセンターに録音します。

お願いとご注意

■ **ご利用にあたって**

- 事故や故障などにより本機やメモリカードに登録したデータ（連絡先、画像、音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な連絡先などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話や通信が困難になることがあります。また、通話中に電波状態が悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。電波法に基づく検査を受けていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音の発生などの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 傍受にご注意ください。
- 本機はデジタル信号を利用しているため、傍受されにくくなっていますが、電波を利用している関係上、通常的手段を超える方法によって第三者が故意に傍受するようなおことまったくないとは限りません。この点をご理解いただいたうえでご利用ください。
- 傍受（ぼうじゅ）とは無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ **自動車中での使用にあたって**

●運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。●本機をご使用になるために、禁止された場所に駐車しないでください。●本機を車内で使用したとき、自動車の車種によっては、まれに車高電子機器に影響を与えることがありますのでご注意ください。

■ **航空機の機内での使用について**

●本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。機内で携帯電話で使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご利用ください。●航空機内では原則的に本機の電源をお切りください。本機を機内モードにすると電波を発する機能はすべて無効となりますが、ご使用については乗務員にご確認ください。

■ **お取り扱いについて**

●本機は防水仕様ではありません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。●雨の日は、バッグの外側のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。●エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。●洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れたまま身体をかめると、洗面所に落としたり、水にぬらしたりする原因となります。●海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり、直射日光が当たったりしないように、バッグなどに入れてください。●汗をかいた手で触ったり、汗をかいた服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が本機の内部に入り、故障の原因となることがあります。



●本機の電池パックを長い間外したままにしていたり、電池残量の少ない状態で放置したりしていると、お客様が本機に登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、内容の消失・変化に関して発生した損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

XO6HT IIを使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。また、お読みになったあとは本書を大切に保管してください。

危険　こんな使いかたはやめましょう

XO6HT IIをご利用になるときに、誤った使いかたをすると、けがや故障の原因となります。

<p>分解・改造</p> <p>分解や改造をしないでください。</p>		<p>水ぬれ</p> <p>ぬれた手のまま使用したり、水がかかる場所で使用しないでください。</p>	
<p>外部接続端子の接触禁止</p> <p>外部接続端子に金属などを触れさせないようにしてください。</p>		<p>指定品以外の使用</p> <p>XO6HT IIに使用する機器は、当社の指定品以外のものは使用しないでください。</p>	
<p>加熱の禁止</p> <p>電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にXO6HT IIや電池パックを入れて加熱しないでください。</p>		<p>運転中</p> <p>自動車運転中のご使用は危険なため、法律で禁止されています。車を安全なところに停車させてからご利用ください。</p>	

知的財産権について

■ **著作権について**

音楽、静止画、動画、コンピュータ・プログラム、データベースなどは、その著作物および著作権者の権利が著作権法により保護されています。このような著作物の複製は、個人的にまたは家庭内での使用を目的とした場合のみ行うことができます。上記以外の目的で、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰の対象となります。本製品を使用し複製などを行うときは、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したのものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■ **肖像権について**

●お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

■ **商標について**

●Siメール、3G HighSpeedはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。●SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。●「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。●microSD™とそのロゴ、microSDHC™とそのロゴは、SDアソシエーションの商標です。●BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。●Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。●AdobeおよびAdobe Reader、FlashはAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●Microsoft、Excel、PowerPointは、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。●その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ **その他**

●本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされています。この用途は、お客様の個人的かつ非営利目的において次のような用途に限ってライセンスされており、その他の利用については認められていません。

・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動において、消費者によって記録されたMPEG-4ビデオの再生
・MPEG-LAからライセンスされた提供者によるMPEG-4ビデオの再生
・詳細な情報については、米国法人MPEG LA, LLCまでお問い合わせください。

●Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済
Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Android マーケット、Android マーケットロゴ、Gmail、Google Apps、Google Calendar、Google Checkout、Google Earth、Google Latitude、Google Maps、Google Talk、Picasa、およびYouTube は、Google Inc. の商標です。その他会社名および製品も、関連する会社の商標である場合があります。

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
●本製品の故障、誤動作または不具合といった原因によって、通話や通信が困難となり、お客様、または第三者が損害を受けられたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} 」を負う可能性が想定される」内容です。
<p>^{*1} 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび入院や長期の通院を要するものをさします。 ^{*2} 障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。 ^{*3} 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。</p>	

●次の線の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。		ぬれた手で扱ってはいけないことを示します。
	分解してはいけないことを示します。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示します。		電源プラグをコンセントから抜いていたことを示します。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。電話番号はお間違いないようお願いください。

<p>■ソフトバンクモバイルお客さまセンター</p>	
<p>総合案内</p> <p>ソフトバンク携帯電話から 157（無料）</p> <p>一般電話から ☎0088-21-2000（無料）または ☎0800-919-0157（無料）</p>	<p>紛失・故障受付</p> <p>ソフトバンク携帯電話から 113（無料）</p> <p>一般電話から ☎0088-240-113（無料）</p>

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）	東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）	中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010（有料）

■ソフトバンクモバイル国際コールセンター

<p>海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失については、下記の番号へおかけください。</p> <p>+81-3-5351-3491（有料・ソフトバンク携帯電話からは無料）</p>

<p> </p>	
<p> </p>	
<p> </p>	
<p>2010年9月 第1版発行 ソフトバンクモバイル株式会社 製造元:HTC Corporation</p>	

<p>「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」</p>
<p>米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比較税率（SAR:Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は、1.04W/kgです。身体装着の場合：本機では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装着身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品を含めないものを選んでください。上記の条件に該当しない装着身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比較税率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のWebサイトを参照してください。</p>
<p>Cellular Telecommunication & Internet Association（CTIA）のホームページ http://www.phonefacts.net（英文のみ）</p>
<p>「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」</p>
<p>本機は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比較税率（SAR:Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯電話機のSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.96W/kg※です。SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のWebサイトを参照ください。</p>
<p>http://www.who.int/emf（英文のみ）</p> <p>※ 身体に装着した場合の測定試験はFCC が定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたもの です。</p>

<p>■ 2.4FH1/DS4/OF4</p>	<p>2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。 FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。 1：想定される干渉距離が10m以下であることを示します。 4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。 ■ ■ ■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。 ※利用可能なチャンネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。</p>
<p>●Bluetooth[®] 機器使用上の注意事項</p> <p>1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。</p> <p>2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。</p> <p>3. その他、ご不明な点につきましては、お問い合わせ先（本紙裏表紙）までご連絡ください。</p> <p>●Bluetooth[®] 機能は日本国内で使用してください。</p> <p>●本機のBluetooth[®] 機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。</p>	
<p>■ワイヤレスLAN（WLAN）についてのおお願い</p> <p>●ワイヤレスLANについて</p> <p>電気製品・A・V・O A 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなる場合があります（特に携帯電話用レンズ使用時には影響を受けることがあります）。 ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。 ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。 <p>●2.4GHz機器使用上の注意事項</p> <p>WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。</p> <ol style="list-style-type: none">この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、お問い合わせ先（本書裏表紙）までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談ください。 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お問い合わせ先（本書裏表紙）までお問い合わせください。	
<p>●ワイヤレスLAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。</p> <p>●本機のワイヤレスLAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。</p>	

お願いとご注意

ー 重要なお知らせ ー

<p> </p>	
<p> </p>	
<p>SoftBank XO6HT II</p>	
<p> </p>	
<p> </p>	

<p> </p>	
<p> </p>	
<p> </p>	
<p> </p>	
<p> </p>	
<p> </p>	

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種XO6HT IIの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。すべての機種種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明（技術基準適合証明）を受けする必要があります。この携帯電話機XO6HT IIも財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは0.595W/kgです。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

<p>総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/je/index.htm</p> <p>社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/</p> <p>※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。</p>

<p>「ソフトバンクのボディSARポリシー」について</p>
<p>*ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比較税率（SAR）のことです。 **比較税率（SAR）:6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。 ソフトバンクでは、ボディSARに関する技術基準として、欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。 ***身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装着身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品を含めないものを選んでください。</p>

ソフトバンクのWebサイトからも内容をご確認いただけます。 http://www.softbankmobile.co.jp/ia/info/public/emf/emf02.html

お願いとご注意

●本機は温度：5℃～35℃、湿度：35％～85％の範囲でご使用ください。
●極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管を避けてください。
●使用中や充電中は、本機や電池パックの温度がやや高くなりますが、異常ではありません。
●カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てると、内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがありますのでご注意ください。
●本機を落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。
●電池パックの端子が汚れたときや、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
●お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、本機に印字されている文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

●雨や雪、湿気が多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
●本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
●荷物とともにバッグなどに入れるときは、重いものの下にならないようにご注意ください。
●電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り出してください。
●充電器を接続して充電しているときは、必ず充電器を取り出し、本機の電源を切ってから取り出してください。データ登録している最中や、メールの送受信中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
●本機の外部接続端子（USBポート）には、指定品以外のものは取り付けなでください。誤動作を起こしたり、本機が破損したりすることがあります。

■ Bluetooth[®]機能を使用する場合のおお願い

●本機は、Bluetooth[®]機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth[®]標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth[®]機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
●Bluetooth[®]機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しなくても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本機では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ/ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。
●周波数帯について
本機のBluetooth[®]機能／ワイヤレスLAN機能が使用する周波数帯は、本機の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

